

'14中期指針

2014年3月28日
三ツ星ベルト株式会社

2014年度からの3ケ年は、一層のレベルアップした三ツ星ベルトを作りあげる努力を一致団結して実践し、生産・販売・技術・間接部門が協力しあって高いレベルの業績を出せる会社、すなわち『**環境の変化に強いぶれない経営**』を築き上げるための3ケ年とする。

1. 経営目標

| | |
|--|---|
| 期 間 2016年度経営計画 | 2014年度～2016年度 売上高 680億円、利益率10%（営業利益・経常利益 68億円） |
| <p>① 2014年度以降の国内経済は、大きく成長しないと考えられる。当社グループは、国内はもとより海外でも積極的に拡販活動を行い、需要を開拓する。</p> <p>② 金融危機後の需要低迷期に行った様々な施策が功を奏し、2010年度以降の営業利益率は10%に近い状態を維持することができた。一方、ユーザからの厳しい価格協力要請や海外の人件費高騰問題に直面しており、現状の利益レベルを維持するには、相当の努力が要求されるが、グループ総員が一致団結し、2016年度も営業利益・経常利益は利益率10%の68億円を維持するよう努力する。</p> | |

| 経 営 計 画 | | MITSUBOSHI | | | |
|---------|--------------------------------------|------------|--------|--------|--|
| 2016年度 | 売上高 680億円、利益率10% (営業利益・経常利益 68億円) | | | | |
| | (単位:億円) | | | | |
| | 2013開示 | 2014目標 | 2015目標 | 2016目標 | |
| 売上高 | 620 | 640 | 660 | 680 | |
| 前期比 | 11.5% | 3.2% | 3.1% | 3.0% | |
| 営業利益 | 60 | 64 | 66 | 68 | |
| 利益率 | 9.7% | 10.0% | 10.0% | 10.0% | |
| 経常利益 | 70 | 64 | 66 | 68 | |
| 利益率 | 11.3% | 10.0% | 10.0% | 10.0% | |

注) 上記の売上高・利益は'14中期指針作成時の開示値・目標値となっております。
2013年度・2014年度の実績値は、決算短信等の開示資料をご覧ください。

2. 重点課題

| | | |
|-----------|--|-----------------------------|
| 海外事業 | ① 需要の拡大が見込まれる海外市場への拡販 | |
| 売上高拡大への活動 | ① 一般産業用ベルトの開発・拡販 ② 2輪車用ベルトの拡販 ③ 高機能・高付加価値ベルトのスペックイン活動強化 ④ タイミングベルトの受注活動強化 ⑤ ベルトシステム製品の開発・拡販 ⑥ 食品業界向けなど、業界ごとのニーズに応じた搬送ベルトの開発 ⑦ 樹脂製品および金属製品の拡販ならびに樹脂・金属の複合製品の開発と拡販 ⑧ [建築]建物の省エネルギー性能を向上させる環境対応製品の拡販 ⑨ [土木]廃棄物処分場への設計織り込み活動強化 ⑩ ナノテクノロジー製品の用途拡大と重点ユーザの確立 | |
| 人材 | ① 海外で通用する人材の育成 ② 海外拠点における現地スタッフの採用と育成 ③ 技術・販売・管理部員の生産現場の知識習得 ④ 営業部員のプレゼンテーション能力向上 | |
| 生産性向上 | 生産ライン | ① 生産の平準化と生産計画の組み換えロス低減 |
| | 並びに | ② QC活動のレベルアップ |
| | 生産拠点 | ③ 設備の計画的な更新 |
| | 検査工程 | ④ 海外の人件費高騰に対応できる徹底したコスト削減活動 |
| | 物流 | ⑤ 生産ラインでの品質の作り込みによる検査コストの低減 |
| | | ⑥ 物流費率の低減 |
| 企業価値の向上 | ① 価格競争に打ち勝つ優れた品質の製品の提供 ② ブランドイメージの向上 | |